

# 第 37 回宮城県臨床細胞学会 学 術 集 会

## 学会案内・プログラム

会 長            伊 藤   潔

学術担当            徳 永 英 樹  
                         渡 辺 み か  
                         高 野 忠 夫  
                         遠 藤 希 之  
                         戸 村 弘 樹  
                         安 達 友 津  
                         齋 藤 邦 倫  
                         三 浦 弘 守  
                         村 田 孝 次  
                         岡 本   聡

会 期            令和 5 年 2 月 5 日（日） 9:50～16:30  
                         現地と Live 配信のハイブリッド開催

会 場            東北大学医学部 臨床講義棟 大講堂  
                         仙台市青葉区星陵町 1-1            TEL022-717-7000

Live 配信            Zoom 使用

後 援            宮城県細胞検査士会

協 賛            中外製薬株式会社

# 第 37 回宮城県臨床細胞学会学術集会

## 会長挨拶

この度、第 37 回学術集会を、現地と Live 配信のハイブリッド開催で行います。多くの会員の方に御参加いただき、宮城県の活動を一層活発なものにしたいと願っています。昨年、一昨年は WEB 開催でしたが、新型コロナウイルスの 3 年越しの感染状況とそれに付随した社会活動の再開に鑑み、ハイブリッドでの開催は、会員の利便性の向上に適したものと考えます。会の運営にあたり、真摯にご検討いただいた、渡辺みか副会長をはじめ、学術を中心とした委員および事務局の方々、会員の皆様に、この場を借りて、心より御礼申し上げます。

今回は、特別企画 1 題、特別講演 1 題、一般演題 4 題、スライドセミナー 4 題を企画しています。特別企画では、細胞診や病理診断に携わるの方々にとって、最も気になる悩ましい課題の一つである「臨床と病理のコミュニケーション」をテーマに、医師および細胞検査士の方々から双方の立場で発表・討議していただく予定です。また特別講演では、実用化・汎用化がすすみ、進捗が著しいゲノム検査につき、慶應義塾大学医学部腫瘍センターの西原広史先生から「がんゲノム検査における検体品質管理の重要性について」と題した講演を賜ります。会員の皆様方のご関心も高い、時宜を得た内容で、楽しみにしております。一般演題やスライドセミナーも、多彩な領域の演題が集まりました。ありがとうございます。

コロナウイルスの感染拡大で、がん検診の受診者数は、数年にわたり、大きな影響を受けました。またそれに伴い、検診で見つかったはずの早期のがんの発見数が、どのガンにおいても大きく減少していることが、明らかになってきました。この状況は恒常的なものとなる可能性があり、危惧されるところです。そのような時代に、細胞診や検診はどうあるべきなのか、何を目指すべきなのか、この課題につき、限られた時間ですが、学会の場で、皆様方と一緒に、考えていきたいと思えます。ぜひ、活発なご討論をお願いいたします。

2022 年 11 月 5、6 日に、仙台市で、ハイブリッドで開催しました第 61 回日本臨床細胞学会秋期大会は、約 6000 名の参加登録があり、多くの方に直接会場に足を運んでいただき、盛会裡に終了しました。宮城県の会員の方々には、多大なご支援・ご協力をいただきましたこと、この場を借りまして心より御礼申し上げます。

社会情勢の定まらない現状ではありますが、宮城県臨床細胞学会は、これからも会員の皆様方の細胞診断学の向上と親睦を進めていきたいと考えております。

今後ともご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和 5 年 2 月 5 日

宮城県臨床細胞学会

会 長 伊藤 潔

# 会員ならびに演者の方へお願い

## 1. 会員の皆様へ

- 参加費は無料です。  
※非会員の方は参加費 2,000 円頂戴します。(ただし、学生および細胞診を勉強中の方は無料)

## 2. 現地参加される方へ

- 産科婦人科学会会員の皆様は、JSOG カードもしくは JSOG アプリで参加登録いたしますので、いずれかをご準備ください。(学会単位：5 点、機構単位：2 単位、領域講習：1 単位)
- 細胞検査士の方はバーコードによる受付を行いますので、日本臨床細胞学会の会員カードをご持参ください。(JSC 10 単位、IAC 6 単位)
- 大講堂は飲食禁止のため昼食の準備はございません。各自、講義棟 1 階のオープンスペースもしくは学外で昼食をお済ませください。

## 3. Live 配信を視聴される方へ

- 参加 URL を配布いたします。Zoom アプリまたはブラウザ (Chrome または Firefox 推奨) から視聴可能です。質問等のご発言はチャットに送信ください。
- 必ずアカウント名に所属、氏名 (フルネーム) を入力いただくようお願いいたします。氏名の確認が出来なければ単位申請できません。
- 学術集会終了後に参加履歴の確認を行い、参加証明書を送付いたします。

## 2. 演者の方へ

- 原則、現地会場にて発表をお願いいたします。
- 投影スクリーンは一面で、発表には Windows パソコンとプロジェクター1 台を使用します。
- 発表 1 時間前までに PC 受付にデータを提出してください。USB メモリにてご持参ください。ネットワーク接続の関係上、ご自身のパソコンでの発表はご遠慮ください。
- 事務局で使用するパソコンは Windows11 になります。
- アプリケーションソフトは Microsoft power Point 2021 です。  
\* version 2013 以前には非対応ですのでご注意ください。  
\* 後日、宮城県臨床細胞学会会報に発表内容を掲載させて頂きますので、個人情報の取り扱いには十分にご注意下さい。

## 3. スライドセミナーについて

- **Web 投票を行います。**各自、宮城県臨床細胞学会ホームページ (<http://miyagi-saibou.umin.jp>) もしくはメール配信にてお知らせした案内より事前投票を行ってください。
- 解答は集計しますので、2 月 2 日 24 時 00 分までに投票してください。

## 4. 事務局からのお願い

勤務先・氏名・送付先の変更ならびに異動・退会等につきましては、資格更新時の確認作業軽減のためお手数ですが事務局までご連絡下さい。各種研修会・事務連絡などはホームページとメール配信にて行っております。メールアドレス未登録の方は登録をお願いいたします。皆様のご協力をお願いいたします。

## 第37回宮城県臨床細胞学会学術集会プログラム

現地受付開始 9:30~

開会挨拶 (9:50~)

宮城県臨床細胞学会会長 伊藤 潔

特別企画 (10:00~11:00)

座長 東北公済病院 病理診断科 渡辺 みか

「臨床と病理のコミュニケーション」

1. 適切な治療方針決定のため臨床医師が細胞診依頼で留意すべきこと

東北大学病院 産婦人科 石橋 ますみ

2. 当院のコミュニケーションツール

仙台赤十字病院 病理診断科病理技術課 高橋 幸夫

3. 気管支内視鏡検体および超音波内視鏡検体の迅速細胞診における

臨床側とのコミュニケーション

仙台厚生病院 病理診断・臨床検査科 遠藤 希之

特別講演 (11:15~12:15)

共催セミナー：中外製薬株式会社

座長 東北大学大学院医学系研究科 婦人科学分野 八重樫 伸生

「がんゲノム検査における検体品質管理の重要性について」

慶應義塾大学医学部 腫瘍センターゲノム医療ユニット 西原 広史

スライドセミナー出題症例示説 (12:15~13:15)

# 宮城県臨床細胞学会総会 (13:20~13:35)

## 一般演題 (13:40~14:40)

座長 気仙沼市立病院 國吉真平  
JCHO 仙台病院 鶴田里美

(1) 14:40~14:55

### セルブロック用検体の固定時間に関する検討

～細胞形態、免疫組織化学法への影響について～

仙台厚生病院 臨床検査センター 病理診断科<sup>1)</sup>、石巻赤十字病院 病理部<sup>2)</sup>

○尾池裕子<sup>1)</sup>、諸橋彰<sup>1)</sup>、荒屋敷聖<sup>1)</sup>、山岡弘和<sup>1)</sup>、

小野寺賢一<sup>2)</sup>、臼渕肇<sup>1)</sup>、赤平純一<sup>1)</sup>、遠藤希之<sup>1)</sup>

(2) 14:55~15:10

### 体腔液検体の術中迅速細胞診における液状細胞診(LBC法)の有用性

東北医科薬科大学病院 病理部<sup>1)</sup>、仙台市立病院診療部 病理診断科<sup>2)</sup>、

東北医科薬科大学病院 病理診断科<sup>3)</sup>、東北医科薬科大学 病理学教室<sup>4)</sup>

○佐藤正樹<sup>1)</sup>、林崎歩美<sup>1) 2)</sup>、鈴木ひろ子<sup>1)</sup>、大沼睦<sup>1)</sup>、

早坂裕美<sup>1)</sup>、村上一宏<sup>3) 4)</sup>、中村保宏<sup>3) 4)</sup>

(3) 15:10~15:25

### 卵巣顆粒膜細胞腫におけるFOXL2遺伝子変異についての検討

宮城県立がんセンター 婦人科<sup>1)</sup>、宮城県立がんセンター 病理診断科<sup>2)</sup>、

東北大学医学系研究科 病理診断学分野<sup>3)</sup>、

○海法道子<sup>1)</sup>、宮原周子<sup>1)</sup>、永井智之<sup>1)</sup>、藤田信弘<sup>1)</sup>、

伊藤しげみ<sup>2)</sup>、佐藤郁郎<sup>2)</sup>、笹野公伸<sup>3)</sup>、山田秀和<sup>1)</sup>

(4) 14:25~14:40

### 尿細胞診の標本作製の現状と標準化

—当院の尿細胞診標本作製方法と東北地区施設宇のアンケート調査報告—

大崎市民病院 臨床検査部<sup>1)</sup>、大崎市民病院 病理診断科<sup>2)</sup>

○戸村弘樹<sup>1)</sup>、本谷友紀<sup>1)</sup>、大崎美千子<sup>1)</sup>、高野託願<sup>1)</sup>、

坂元和宏<sup>2)</sup>、谷内真司<sup>2)</sup>

**休憩** (14:40~14:50)

**スライドセミナー** (14:50~16:30)

座長 東北大学医学系研究科 病理診断学分野 井上千裕  
みやぎ県立こども病院 高埼健司

**(1) 婦人科**

出題 : 宮城県医師会健康センター 佐々木 麻 弥 (CT)  
回答 : 国立病院機構仙台医療センター 佐々木 香 穂 (CT)

**(2) 呼吸器**

出題 : 仙台厚生病院 諸 橋 彰 (CT)  
回答 : 宮城県対がん協会細胞診センター 中 島 早 貴 (CT)

**(3) 乳腺**

出題 : 東北公済病院 高 橋 良 輔 (CT)  
回答 : 東北医科薬科大学病院 大 沼 睦 (CT)

**(4) その他(唾液腺)**

出題 : 東北労災病院 阿 部 和 子 (CT)  
回答 : みやぎ県南中核病院 佐 藤 瑠 璃 (CT)

**閉会** (16:35)

# 学術集会会場案内

## <地下鉄のご利用>

仙台市営地下鉄南北線仙台駅から泉中央行きに乗車し、北四番丁駅下車。北2出口。八幡町方面へ徒歩約10分。

## <バスのご利用>

仙台駅前バスのり場10番から乗車し、大学病院前下車が最も便利です。9、15-1、15-2番からも、大学病院前下車が可能です。



<注意>セキュリティの都合上正面玄関からの入場はできません。  
当日は図書館側か郵便局側よりご入場下さい。

## <駐車場について>

大学病院内の駐車場は使用できませんので、公共の交通機関をご利用くださいますようお願いいたします。

## 宮城県臨床細胞学会事務局

仙台市青葉区上杉5丁目7-30

宮城県対がん協会細胞診センター内

TEL 022-263-1525

E-Mail: jscmiyagi@miyagi-taigan.or.jp